

雛のつるし飾り(2/23)



全ての人形には、娘を想う親の願いが……。

秋保温泉:文化里センターの「おひな様展」で、初めて「雛のつるし飾り」を目にした。

写真を当HP「スナップ」Pに掲載したところ、早速、「これは宮城県の伝統工芸？でしょうか？」とか、「いいネーミングですね。初めて聞きました。」などと、メールをいただいた。

宮城県の伝統民芸と聞かれると、初めてみただけにそうではないと思うが、念のため詮索してみた。

静岡県の伊豆地方は、昔から「雛のつるし飾り」の習慣があるよう。特に、稲取温泉では「雛のつるし飾りまつり」が1月～3月に開催されているよう(写真のサイトを見つけたので、下欄の「雛のつるし飾り」からリンク)。

自分が見たのは、稲取地方の飾りを取り入れて作っている方の作品だったよう。

また、雛のつるし飾り一つ一つの願いの意味を尋ねてきたメル友も。パンフを見ながら、抜粋・転記します。

【(もも)実には、霊気があるとされ、邪気、霊気を退治し、延命を意味する。また、桃は早く花が咲き果肉が大きく実が多いことから多産を象徴。(さる)厄が去る。(三角)香袋。(うさぎ)赤い目のウサギは呪力があるとされ、神様のお使いともいわれている。(這い子人形)這えば立て、立てば歩めの親心。(巾着)お金に不自由しないように。(おかたごろ)高貴な人のこと。稲取地方ではお嫁さんのことを「おかた」と呼び、語源の「おかたの頃」から、着せ替え人形のこと。(草履)早く「あんよ」ができるように。(三番叟)能で祝い事につきもの。(とうがらし)殺虫効果から、娘に虫がつかないように。(座布団)赤ちゃんが早く座れるように。(枕)寝る子は育つ。(俵ねずみ)五穀に不自由しないように。(犬)安産の守り神。(ふくろう)呪力がある。不苦労にかけて。(柿)滋養があり、長寿の木。(花)花のように美しく。(金目鯛)赤い色は魔除けの色。(はまぐり)二枚目は貞節の象徴。(お手玉)遊び道具。(羽子板)厄を飛ばす。(亀)長寿の象徴。(鳩)ハトはむせないと言われ、お乳をよく飲めるように。(蝶)三三九度の男蝶女蝶の縁起物。(だるま)七転び八起き。(雀)五穀豊穡をあらわし、食にも恵まれるように。】

この他にもと50種類ほどの中から、それぞれの人形が吊るされるとか。

全ての人形には、娘を想う親の願いが……。

- [「雑学BN」](#)
- [「雑学・フォトアルバム」](#)
- [「雛つるし飾り」](#)

